

Road to Championship!
第55回 日本少年野球選手権大会支部予選

第24回
エスエスケイ旗争奪大会



(公財)日本少年野球連盟

期 間

【中学生の部】

2024年6月1(土)、2(日)、8(土)、9(日)、予備日15日(土)

【小学生の部】

2024年6月9日(日)、予備日15日(土)

会 場

【中学生の部】

森林公園野球場、いちい信金スポーツセンター
土岐市総合野球場 他

【小学生の部】

ノザキ製菓アイリスパーク球場

主 催
共 催
後 援

(公財)日本少年野球連盟 愛知県西支部
株式会社エスエスケイ
愛知県 株式会社愛知銀行
(公財)日本少年野球連盟

開 会 式

行 わ な い

閉 会 式

中学生の部 6月9(日) 18:00～ 愛知啓成高校グラウンド(表彰式)

小学生の部 6月9(日) 16:00～ ノザキ製菓アイリスパーク球場(表彰式)

1. 役員、審判員、監督、コーチ整列
2. 選手整列
3. 優勝旗、賞状、メダル授与
4. 退場

第24回SSK旗争奪大会兼第55回日本少年野球選手権大会支部予選役員名簿

《大会会長》

愛知県西支部支部長 渡会 武則

《大会副会長》

(株) エスエスケイ 齋木 英志
名古屋支店支店長

(株) エスエスケイ 石井 敏裕
名古屋支店ベースボール
エリアスタッフ次長
愛知県西支部副支部長

《大会運営委員長》

愛知県西支部企画運営部長 山岸 昌弘

愛知県西支部企画運営副部長 大野 工太

愛知県西支部企画運営副部長 林 透

《大会運営副委員長》

愛知県西支部行事委員長 玉置 正樹

愛知県西支部行事副委員長 澤中 涉

《大会運営委員》

愛知小牧ボーイズ代表 服部 誠

尾張ボーイズ代表 高木 哲也

春日井ボーイズ代表 窪園 三郎

名古屋名東ボーイズ代表 平木 雅之

愛知江南ボーイズ代表 住藤 重光

東尾張ボーイズ代表 前島 康典

愛知長久手ボーイズ代表 小林 正俊

名古屋東ボーイズ(小)代表 清水 英史

東海ボーイズ(小)代表 加藤 剛司

岐阜ボーイズ(小)代表 山本 一利

《大会審査指導部長》

愛知県西支部審査指導部長 柴田 昭二

《大会審査指導副部長》

愛知県西支部審査指導副部長 林 日出夫

《大会顧問》

日本少年野球連盟名誉会長 藤田 英輝

日本少年野球連盟会長 惣田 敏和

日本少年野球連盟副会長 工藤 眞一

日本少年野球連盟専務理事 大富 肇

日本少年野球連盟特別相談役 堀内 健

日本少年野球連盟理事 松本 行弘
中日本ブロック長

日本少年野球連盟理事 伊藤 大輔
愛知県西支部担当

《大会総務部長》

愛知県西支部総務部長 中村 直人

《大会事務局長》

愛知県西支部事務局長 中村 直人

《大会副事務局長》

愛知県西支部副事務局長 澤中 涉

《大会広報委員長》

愛知県西支部広報委員長 池田 一成

《大会会計部長》

愛知県西支部会計部長 牧野 義人

《大会会計副部長》

愛知県西支部会計副部長 内藤 邦将

《大会会計監査》

愛知県西支部会計監査 大迫 英紀

《大会審判長》

愛知県西支部審判長 山田 和雅

《大会副審判長》

愛知県西支部副審判長 林 欣吾

// 大竹 英樹

// 小笠原 崇人

《大会審判員》

愛知県西支部審判員諸氏

大会規定【中学部】

- 1・チームの登録選手は11名以上25名以内（ベンチ入りは20名以内）とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は今年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチ、マネージャーのみベンチに入ることができる。但し各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上ベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者が不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。但し、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前までに試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球回数記録副表3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出のうえ所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - (1)各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えた場合、新しいイニングには入らない(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2)4回終了時(後攻チームの得点が先攻チームの得点より多い場合は、4回終了時)10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)7回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
- 11・(1)中学生の部投手の投球数は、1日最大80球とし、連続2日間で120球以内とする。
連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。また3連投(連続する3日間)する場合は、1日の投球数を40球以内とし4連投(連続する4日間)は禁止する。連続する2日間で80球を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手としても出場できない。
ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。また、1試合のみ投球した場合は、1日の投球とする。
 - (2)打席の途中で制限数に到達した場合は、当該打者の打席が終了するまでは投球を認める。その時制限数を超えた投球数はカウントしない。
 - (3)ボークは投球数としない。ノーゲームになった試合も投球数にカウントする。申告敬遠までの当該打者への投球数はカウントする。その他は連盟本部発行の「投球数制限ガイドライン」に基づく。
 - (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合があるので、すべてのチームは「直前大会参加状況報告書」次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛に提出しなければならない。
- 12・(1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。
(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2)守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4)指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。
その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。ただし、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上で走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 20・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等はパートナー企業のものに限る。
- 21・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること【SGマーク必須】
- 22・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 23・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 24・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 25・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 26・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる(申告敬遠)。
- 27・各チームはAEDを持参すること。



参考

野球規則 7.01(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイプブレイク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 中学生の部は延長8回あるいは試合開始から2時間を超えて(いずれか早い方)決勝戦は10回あるいは2時間20分を超えて(いずれか早い方)、決勝戦は9回あるいは2時間00分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時は以降の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
 - (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
 - (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (二) この場合の代打および代走は認められる。

(2) チームおよび個人の記録

チームおよび個人の記録は公式記録とするが、如何に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打・無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁の記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

大会規定【小学部】

- 1・1チームの登録選手は4年生以上で9名以上20名以内とする。
- 2・出場選手はその大会の登録締め切り日現在、連盟へ登録済みの者に限る。
- 3・審査証は今年度発行のものとする。
- 4・オーダー表記入選手20名以内およびチーム責任者、登録された監督、コーチおよびマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)および審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチには入れないが、チーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査の上でベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査の上、その時点でベンチ入りできる。なお、チーム責任者は必ずベンチに入らなければならない。チーム責任者不在の場合は試合できない。
- 5・組み合わせの若番号が1塁側のベンチ、後番号が3塁側のベンチに入る。チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
- 6・監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
- 7・試合開始時刻60分前に試合場に到着し、直ちにオーダー表を5部、投球数記録表(副)3部及び大会初戦の時は、直前大会参加報告書を大会本部に提出の上、所定の審査を受けなければならない。
- 8・オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
- 9・試合開始予定時刻までにチームがグラウンドに現れないときは、球場責任者と責任審判員が協議して没収試合を宣言することができる。
- 10・試合方法など
 - (1)各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。試合成立後は試合開始から1時間40分を超えた場合、新しいイニングに入らない(後攻チームの得点が先行チームの得点より多い場合は後攻チームが攻撃中でも規定時間になれば、その時点で試合を終了する)。また降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、野球規則7.01(4)により勝敗を決する。同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
 - (2)4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
 - (3)6回終了後、同点の場合は延長戦に入るが、延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方法を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
 - (4)大会は3チーム巴戦とする。対戦表にある第一試合から始まり、第一試合負けチームと残りのチーム(※)が第二試合で対戦、第一試合勝ちチームと残りのチーム(※)が第三試合で対戦する。
 - (5)順位ルールは以下のとおりとする。
 1. ポイント※上位
 2. 得失点差が大きい
 3. 総失点が少ない
 4. 総得点が多い※ポイント;勝:2pt、負:0pt、引分:両者1pt 以上で決まらなければ抽選で決める
- 11・(1)投手は1日最大70球とし、連続する2日間で105球とする。3連投(連続する3日間)は禁止とする。
 - (2)ダブルヘッダーでの場合で2試合に登板したときは連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない。
 - (3)大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目70球の投球は可とする。打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。ボークは投球数にカウントしない。雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。なお、変化球を禁止する。
 - (4)日程の変更(地区大会を含む)等で前大会と連続試合になる場合は、「直前大会参加状況報告書」を次大会の最初の試合日に、次大会主催者宛 提出しなければならない。
- 12・(1)監督またはコーチの指示、伝達は1試合で攻撃2回と守備2回の計4回とする。延長またはタイブレークに入った場合は、それぞれで1回の指示、伝達を認める。(選手の怪我や交代などの指示、伝達は回数に入らない。)
 - (2)守備側の投手に対する指示、伝達が3回目となれば、自動的に投手は交代となり、その投手は他の守備位置についてもよいが、再び投手として登板することはできない。
 - (3)内野手が2人以上投手のところに行った時も1回に数える。
 - (4)指示、伝達は審判がタイムを宣言してから「30秒以内」とする。
- 13・1イニングで同一の投手に対して指示、伝達が2回目となれば、自動的に投手の交代となる。その投手は他の守備位置に着くことができるが、同一イニングでは投手として登板することはできない。ただし、新しいイニングに入れば、再び投手として登板することができる。

- 14・審判員の判定に対する抗議は認めない。但し、ルールの適用についての確認は認める。
- 15・監督またはコーチが投手に指示などをするとき、マウンドのところで行うこと。(ベンチからは駆け足で)
- 16・2 塁走者やベースコーチなどが捕手のサインを盗んで、打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。
- 17・ボール回しをする時は一回りとし、最終野手は、その定位置から返球する。また打者が打撃を継続中、塁上走者がアウトになった場合のボール回しは禁止する。
- 18・投手は走者をアウトにする意志がないのに、無用のけん制球を繰り返すとか、または送球するまねを何度も繰り返す行為は、試合のスピーディーな進行の妨げになるため禁止する。
- 19・攻撃側チームの監督、コーチに限りコーチスボックス内でベースコーチを務めてもよい。この場合必ず両耳付きヘルメットを着用すること。
- 20・各チームは同色のヘルメット7個以上、捕手の規定防具(マスク、捕手用ヘルメット、プロテクター、レガース、スロートガード、ファールカップ)2組を備えること。一体型捕手マスクの場合はヘルメット、スロートガードを除く。
- 21・ユニフォーム、バット、スパイク、グラブ等はパートナー企業のものに限る。
- 22・捕手は必ずヘルメットならびに規定防具を試合、練習を問わず着用すること【SG マーク必須】
- 23・グラウンドの都合で大会トーナメント規定が別に制定された場合は、それに従うこと。
- 24・ベンチ内での携帯電話の使用を禁止する。
- 25・光化学スモッグ発生の場合は、試合及び選手に対する措置は別に定め、運営委員の指示に従う。
- 26・試合前のシートノックは原則として5分間行うが、当該球場のグラウンド状況や試合終了時間を勘案してシートノックを行うか否かは球場責任者が決定するものとする。
- 27・守備側のチームの監督は球審に敬遠の意思を伝えると投手が投球することなく対戦打者を四球にすることができる(申告敬遠)。

安全と安心の目印
SGマーク



参考

野球規則 7.02(4)

7.02(a)によりサスペンデッドゲームにならない限り、コールドゲームは、球審が打ち切りを命じた時に終了し、その勝敗はその際の両チームの総得点により決する。

【注】我が国では、正式試合となった後のある回の途中で球審がコールドゲームを宣したとき、次に該当する場合は、サスペンデッドゲームとしないで、両チームが完了した最終均等回の総得点でその試合の勝敗を決することとする。

- (1) ビジティングチームがその回の表で得点してホームチームの得点と等しくなったが、表の攻撃が終わらないうち、または裏の攻撃が始まってもホームチームが得点しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。
- (2) ビジティングチームがその回の表でリードを奪う得点を記録したが、表の攻撃が終わらないうち又は表の攻撃が始まらないうち、あるいは裏の攻撃が始まってもホームチームが同点かたはリードを奪い返す得点を記録しないうちにコールドゲームが宣せられた場合。

《タイブレーク実施細則》

(1) 特別規則

- (イ) 延長7回あるいは試合開始から1時間40分を超えて(いずれか早い方)両チームの得点が等しい時以降の回の攻撃の回の攻撃は、一死走者満塁の状態から行うものとする。
- (ロ) 打者は、前回正規に打撃を完了した打者の次の打者の者とする。
- (ハ) この場合の走者は、前項による打者の前の打順の者が一塁走者、一塁走者の前の打者が二塁走者、そして二塁走者の前の打者の者が三塁走者となる。
- (ニ) この場合の代打および走者は認められる。

(2) チームおよび個人記録

チームおよび個人記録は公式記録とするが、以下に掲げる事項に留意すること。

(イ) 投手記録

- ・規定により出塁した3走者は、投手の自責点とはしない。
- ・完全試合は認めない。
- ・無安打、無得点試合は認める。

(ロ) 打撃成績

- ・規定により出塁した3走者の出塁記録はないものとする。ただし、盗塁、盗塁刺、得点、残塁などは記録する。
- ・規定により出塁した3走者を絡めた打点、併殺打などはすべて記録とする。

中学生投手の投球制限ガイドライン 2022年版

レギュラーの部・ジュニアの部 大会

中学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は、以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**80球**とし、連続する2日間で**120球**以内とする。
連続する2日間で**80球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**40球**以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**80球**以内とし、翌日投球を休めば3日目は**80球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**80球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、登板最終日並びに翌日は捕手
としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数としない。
- ⑥ 雨などのノーゲームになった試合は投球にカウントする。
- ⑦ 2年生以下が投手の場合も上記に準ずるが指導者は十分考慮する事。

1年生大会

1年生大会の試合での登板は以下の通り制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**以内とする。
連続する2日間で**70球**を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投（連続する3日間）する場合は1日の投球数を**35球**以内とし
4連投（連続する4日間）は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**投球後、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の
打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ 連続する2日間で**70球**を超えた投手、並びに3連投した投手は、
翌日は捕手としても出場できない。
- ⑤ ボークは投球数にしない。
- ⑥ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

共通事項

ダブルハッターの場合で、2試合に登板した場合は、連続2日間投球したとする。

また1試合のみ投球した場合は1日の投球とする。

小学生投手の投球制限ガイドライン 2022年版

レギュラーの部・ジュニアの部 大会

小学生の部レギュラー及び、ジュニアの試合での登板は以下のとおり制限する。

- ① 1日最大**70球**とし、連続する2日間で**105球**とする。
3連投(連続する3日間)は禁止する。
- ② 大会中は1日**70球**以内とし、翌日投球を休めば3日目**70球**の投球を可とする。
- ③ ①～②を基本原則とするが、打者の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④ ボークは投球数にしない。
- ⑤ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

*小学部共通事項

1. ダブルヘッダーの場合で、2試合に登板した時は連続2日間投球した事とし、翌日は登板できない(ダブルヘッダーの登板は可/3連投は不可)
また、1試合のみ登板した場合は、1日の投球とする。
2. 小学部に於いては投手から捕手の制限は設けないが、指導者は十分考慮すること。

*補足・キッズの部(4年生以下)

キッズの試合での登板は以下のとおり制限する。(4年以下)

- ① 1日最大**50球**とし、2日間の連投は禁止する。(キッズは連投禁止)
- ② 打者の途中で制限数が来た場合は、当該打者の打席終了までは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ③ ボークは投球数にしない。
- ④ 雨などノーゲームになった試合は投球にカウントする。

◎投球制限ガイドラインの補足説明

(1) ③について

打者の途中で制限が来た場合とは、投球日における可能投球数の事である。

中学レギュラーの部を例にすると、初日に於いては 80 球を超えた場合であり、また、初日 68 球投げた連投 2 日目であれば、2 日目の可能投球数 52 球を超えた最後の打者に適用される。

投手に 3 連投を予定していた場合には、初日、2 日目に 40 球を超えると 3 日目は投げる事ができない。初日、2 日目に於いて打者の途中であっても 40 球投げた時点で交代しなければ、3 連投できない。41 球投げれば 3 連投できない。(打者の途中での投手の交代は制限していない)

(2) ダブルヘッダーについて

ダブルヘッダーの試合は、その日の第 1 試合、第 2 試合どちらかで投げれば翌日(前日)の試合の連続扱いとする。(片方の試合に登板しなくとも休みとはしない)

両方の試合に投げた場合は、1 日の最大投球数 80 球(中学レギュラー)で連続の試合で投げたこととなり、翌日投げる場合、また前日投げている場合は、3 連投の扱いとなり、1 試合 40 球を超えていると投げられない。

ウイルス感染予防ガイドライン

1. 出場チームの遵守事項

(1)検 温

- ①開会式3日前～大会参加期間中はチームの参加者全員が検温を実施し体調管理をチームで行うこと
- ②参加者名簿は感染者等が出た場合等に提出できる体制をチームで確立すること
※名簿の提出は不要。大会中に感染拡大等により名簿の提出を求めることがある

(2)消毒・換気等

- ①チームで消毒液等を備え、食事前等に手指消毒を徹底すること
- ②バス及び自家用車等での移動や宿舎内は換気をこまめに行うこと
- ③マスク着用は義務付けないが、感染が疑われる場合等はチームとしてマスク着用について適宜判断すること

(3)発熱者等の発生時

- ①発熱者が出た場合は、発熱者を隔離、ウイルス検査等、医師の診察を受けること
- ②発熱者と宿舎での同室、接触が特に密な選手等は、マスク着用で他の選手・チーム関係者と接触を少なくし、大会に参加すること
- ③発熱者が陰性の場合、上記②を解除できる

(4)チーム責任者について

- ①チーム責任者(基本は代表、または副代表等)は、感染対策をはじめチームの行動の全責任を負い、大会期間中は、連盟規約や各種決定事項の遵守を徹底すること
- ②大会期間中のチーム責任者の氏名及び連絡先を事前に連盟本部に報告すること

2. 大会・試合に関する遵守事項

(1)集合時

- ①試合に際し、チームは試合開始1時間前を目途に球場に到着すること
- ②本部等のチームの全体挨拶は行わず、チーム責任者が到着した旨を本部に伝える
- ③チーム責任者は到着時に、役員・選手登録名簿、オーダー表、直前大会・練習試合投球状況報告書(初日のみ)、2試合目以降は投手投球数記録表(正)1枚、(副)3枚を球場責任者に提出すること

(2)審査について

- ①球場責任者は、提出された役員・選手登録名簿、オーダー表と照合し、審査を開始する
- ②大会審査はチーム責任者立会の下、道具審査を行い、チーム責任者及び指導者等、選手は規定に基づき整列し、球場責任者等の役員が上記①で確認した役員・選手登録名簿により行う
- ③審査の際に選手は氏名・生年月日を発声し、資格証を審査者に見えるように提示する

3. その他

(1)球場スタンド・応援等

- ①スタンドにおいても、一定のソーシャルディスタンスを意識すること
- ②できるだけ、他チームの関係者と接触しないようにすること
- ③スタンド等観戦時に保護者等は、節度ある応援とすること
・鳴り物は使用しない。ナイスプレーは拍手で賞賛する。
メガホンは使用可(ただしメガホンを通しての声出しは禁止)(球場のマナーに従う事)
- ④試合終了後は、応援チームでスタンドの清掃を行うこと

(2)その他

- ①感染状況により、2類時のガイドラインに準ずる取り扱いとなる場合がある
- ②この場合は、連盟本部から改めて臨時のガイドラインを発する
- ③その他、大会期間中に疑義等があれば連盟本部に支部長を通じて照会すること 以上

第24回SSK旗争奪大会兼第55回日本少年野球選手権大会支部予選

1日目 2024年6月1日(土)

開会式は開催なし

2日目 2024年6月2日(日)

3日目 2024年6月8日(土)

4日目 2024年6月9日(日)

予備日 2024年6月15日(土)

A 球場 ◎ 森林公園第1野球場
 B 球場 森林公園第2野球場
 C 球場 愛知津島B専用G

A 球場 ◎ 森林公園第1野球場
 E 球場 土岐市総合野球場
 球場

D 球場 ◎ いちい信金スポーツセンター
 球場

F 球場 ◎ 愛知啓成高校グラウンド

D 球場 いちい信金スポーツセンター

尾張ボーイズ
 名古屋富士ボーイズ
 愛知津島ボーイズ

尾張ボーイズ
 ⑧⑨の勝ち上がり

尾張ボーイズ

尾張ボーイズ

尾張ボーイズ

中学生の部
 支部

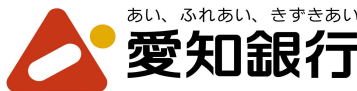
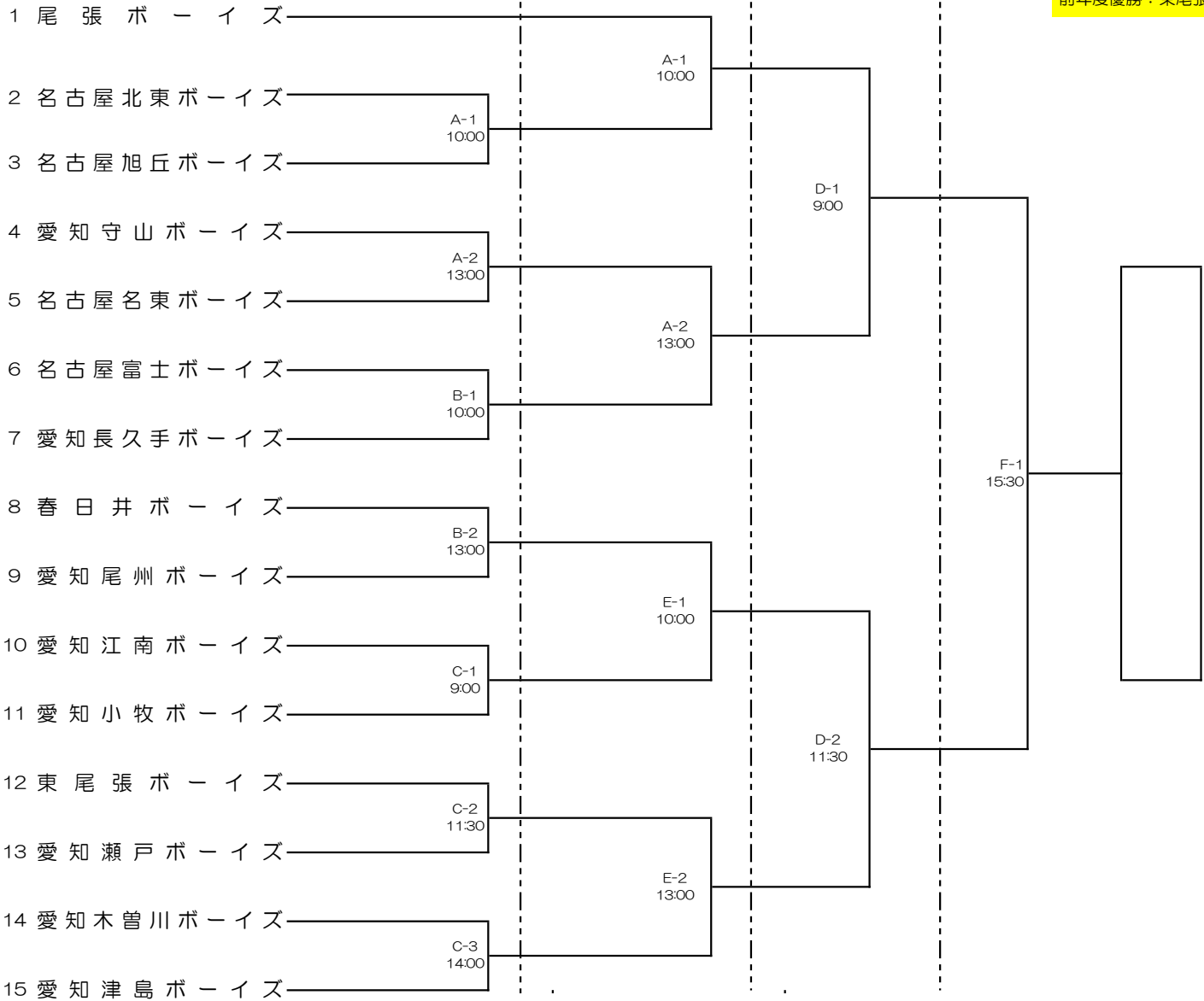
1日目

2日目

3日目

4日目

前年度優勝：東尾張ボーイズ



第24回SSK旗争奪大会兼第55回日本少年野球選手権大会支部予選 小学部 対戦表

日程 ; 2024年6月9日 (予備 6月15日)

場所 ; ノザキ製菓アイリスパーク球場

グラウンド担当 ; 東海ボーイズ

昨年優勝 稲沢中央ボーイズ

	①東海ボーイズ	②名古屋東・岐阜合同ボーイズ	③稲沢中央ボーイズ
①東海ボーイズ		第一試合 09:30	第一試合結果による※
②名古屋東・岐阜合同ボーイズ	—		第一試合結果による※
③稲沢中央ボーイズ	—	—	

試合形式 ; 三つ巴戦 若番チームが一塁側とする

試合時間 ; 1時間40分

コールドゲーム ; 適用する

試合開始予定 ; 第一試合 09:30 第二試合 11:50 第三試合 14:10

※ 第一試合負けチームと③のチームが第二試合で対戦する

順位決定のルール

⇒ 1. ポイント※上位 2. 得失点差が大きい 3. 総失点が少ない 4. 総得点が多い

⇒ ※ポイント ; 勝 : 2pt、負 : 0pt、引分 : 両者1pt

上記で決まらなければ抽選で決める



【中学部】

尾張ボーイズ

代表	高木 哲也
監督	小林 俊哉
コーチ	松本 茂樹
マネージャー	後藤 久司
62	主将 富倉 颯大 3年
2	和手 陵恭 3年
5	村松 遼大 3年
6	仲谷 庵慈 2年
9	阿南 大飛 2年
10	丹下 慶人 3年
14	平野 壮真 3年
17	林 遼太郎 3年
19	山田 蒼大 3年
22	大隈 蒼斗 3年
26	大野 晴斗 3年
28	高田 桂司 3年
30	林 蒼大 3年
39	上田 扇大 3年
42	川合 弘太郎 3年
52	松本 煌 3年
53	鎌田 凌空 3年
55	西山 幸我 3年
66	高松 浩人 3年
67	西村 竹棟 3年
77	小宮 憩都 3年
99	木本 憲伸 3年

名古屋北東ボーイズ

代表	林日出夫
監督	牧田 勉
コーチ	富田 雄一
マネージャー	白馬 太郎
36	主将 大槻 兼士 3年
0	西原 叶琉 2年
1	山本 凱翔 2年
5	所 暖樹 2年
7	小山 寛太 2年
10	中根 彪人 2年
11	井村 龍了 2年
16	藤井 敬也 2年
17	清水 高輝 2年
20	木下 央介 3年
21	丹野 碧斗 3年
22	高田 鍊侍 2年
23	伊藤 舜太 3年
33	鈴木 大賀 3年
55	森河 音優 3年
56	岡本 歩大 3年
81	小澤 玄 3年

名古屋旭丘ボーイズ

代表	澤中 渉
監督	虫賀 千修
コーチ	滝本 雅晴
マネージャー	佐々木 敦司
3	主将 熊崎 陽斗 3年
1	氏橋 竣 3年
4	落合 健翔 3年
5	勝田 燎 3年
6	水野 葵斗 2年
9	籠 勇人 3年
10	堀 日向 3年
12	馬場 健 2年
13	山本 蒼汰 3年
14	高橋 京司 2年
16	奥村 康生 3年
18	茅場 誉 2年
19	大津 颯斗 2年
20	岡本 陵汰 2年
21	田口 虹太郎 3年
23	福永 真玖 2年
25	舟津 悠輝 3年
26	谷口 圭 2年
31	鈴木 駿介 2年
33	山田 琉晴 2年
34	山下 ダニエル 3年
38	成瀬 壮輝 3年
51	鈴木 廉祐 2年
55	山田 樂 2年

愛知守山ボーイズ

代表	池田 一成
監督	鈴木 賢一
コーチ	田中 文康
マネージャー	小椋 康史
77	主将 岩橋 興世 3年
1	鈴木 優吾 3年
6	渡邊 結斗 3年
7	小幡 拓三 2年
8	小椋 絆平 3年
10	小森 明日都 3年
12	近藤 裕介 3年
13	津汲 史暁 3年
15	岡田 颯 3年
16	田中 健真 3年
18	中山 知洋 3年
27	寺澤 空音 3年
28	三浦 陽遊 3年
29	吉田 文竜 3年
30	吉住 琉 3年
33	高木 琉成 3年
34	岡部 泰士 3年
36	佐々木 康太 3年
39	安藤 寛太 3年
41	和志武 奏 3年
42	塚本 獅丸 3年
52	高橋 依京 3年
98	上田 大河 3年

名古屋名東ボーイズ

代表	平木 雅之
監督	竹村 和久
コーチ	岸田 幸三
マネージャー	永田 耕規
17	主将 東井 一真 3年
0	大塚 健太 3年
1	鈴木 駿太郎 3年
3	加藤 壱 2年
4	鈴木 蒼波 3年
12	山元 希海 2年
13	松原 奏 2年
15	山口 光翔 2年
18	中目 大雅 2年
20	井澤 一翔 3年
21	越野 太喜 3年
22	下笠 颯斗 2年
23	深谷 航大 3年
24	深田 功成 3年
26	清水 悠成 3年
31	田村 莉壱 2年
34	豊竹 湊 2年
41	玉井 聖也 2年
42	小泉 怜巳 2年
43	菊田 陸翔 2年
51	織戸 竜哉 3年
55	鶴野 煌大 2年
56	大澤 一智 2年
66	丹波 桜介 2年
99	山田 倅大 3年

名古屋富士ボーイズ

代表	玉置 正樹
監督	青山 富弘
コーチ	川上 忠
マネージャー	菅原 亮
24	主将 吉田 瑛太 3年
8	菅原 有一 3年
9	小西 哲平 3年
15	松元 銀仁朗 3年
29	神谷 彩斗 3年
37	石原 快人 3年
41	樋口 流榎 3年
44	林 武 3年
51	春名 奏汰 3年
53	永作 凌久 2年
61	中島 駿人 3年

愛知長久手ボーイズ

代表	小林 正俊
監督	赤間 大輝
コーチ	浅井 実
マネージャー	小栗 泰幸
18	主将 細川 陽平 3年
1	安藤 寛太 2年
3	西野 裕貴 3年
4	岡本 一蔭 3年
6	牧 龍之介 2年
8	小栗 大和 3年
9	古川 隼士 3年
16	田中 豪斗 2年
17	與語 秀太 2年
19	山北 琉偉 2年
21	荒木 智哉 2年
23	牛脇 篤紀 3年
24	岩越 竜人 2年
25	杉本 朔弥 3年
31	山田 麗央 3年
33	木戸 陽奏 2年
34	安藤 聡汰 2年
35	山口 奏 2年
41	栗賀 啓叶 2年
51	小出 涼介 2年
55	勝濱 大地 3年
56	杉原 大河 2年
71	岡田 雄翔 2年

春日井ボーイズ

代表	窪園 三郎
監督	澤野 肇
コーチ	飯島 洋一
マネージャー	坂下 隆一
1	主将 木村 一耀 3年
2	平 悠希 3年
3	山本 凌生 3年
4	平 琉希 3年
31	山下 久温 2年
33	山田 珠生 2年
35	奥田 孝都 2年
37	山崎 新太 2年
39	山本 倭功 2年
47	池本 聡生 2年
48	飯野 慈叡 2年
51	牛尾 優一朗 2年
53	平井 悠貴 2年
55	今井 陽介 2年
61	井上 洸惺 2年
62	細野 竜希 2年
66	西尾 和輝 2年
71	渡邊 勇人 2年
85	神谷 彪斗 2年

愛知尾州ボーイズ

代表	内藤 邦将
監督	藤川 正樹
コーチ	筏井 知良
マネージャー	岡田 将幸
13	主将 小林 大雅 3年
1	丹羽 裕聖 2年
4	川井 佑真 3年
8	山下 奏汰 3年
18	梅村 全 2年
21	橋本 彪輝 3年
28	島田 耀 3年
32	山本 寿希也 3年
33	前澤 凱音 3年
36	尾関 颯歩 3年
37	丹羽 絆人 3年
41	土橋 颯斗 3年
53	早川 湊 3年
54	朝倉 陸 3年
56	島岡 煌 3年
61	杉山 弦太 3年
77	稲垣 翔太 3年
80	竹中 彩人 3年
82	平野 光樹 3年
90	長崎 匠真 3年

愛知江南ボーイズ

代表	住藤 重光
監督	縄田 武志
コーチ	佐々 聖尚
マネージャー	宇野 宣幸
6	主将 石川 歩夢 3年
1	元田 鳳貴 2年
2	丹羽 陽己 2年
3	中下 湧太 2年
4	岩田 憲大 3年
5	藤井 嵐汰 3年
7	水野 翔斗 3年
8	田中 朋綺 2年
9	脇坂 優吾 3年
10	宇野 煌盛 3年
11	大西 悠斗 3年
12	宇野 瑠晟 3年
13	神戸 澄和 2年
14	高田 凱都 3年
15	竹山 航生 3年
16	村上 紗羅 3年
17	小島 諒大 2年

愛知小牧ボーイズ

代表	服部 誠
監督	水野 哲也
コーチ	木下 英二
マネージャー	岩切 利仁
34	主将 内山 煌斗 3年
0	廣瀬 結翔 3年
1	大塚 達貴 3年
2	渡邊 竜翔 3年
3	小川 夢斗 3年
5	大池 桔平 3年
6	祖父江 勇斗 3年
7	加藤 響 3年
11	中島 脩真 3年
12	藤代 悠右 3年
18	滝 一瑳 3年
25	大家 蒼士 3年
27	伊藤 波琉 3年
30	島田 蓮音 3年
31	才穂 永耀 3年
32	吉富 恵一朗 3年
33	小澤 尊 3年
51	堀 琥太郎 3年
56	上野 眞汰 3年
99	水野 東紗 3年

東尾張ボーイズ

代表	前島康典
監督	山下浩一
コーチ	斎藤真一
マネージャー	山田勝
43	主将 馬場慎之介 3年
24	岩城由羽 3年
25	宮地輝來 3年
26	足立光音 3年
27	山田優真 3年
28	山田源汰 3年
29	福島悠生 3年
30	大村涼太 3年
31	矢田裕之 3年
33	板津陽太 3年
34	沼田敦雪 3年
35	安田怜央 3年
36	鈴木皇瑛 3年
38	山下颯斗 3年
39	吉田壮太 3年
41	戸高凌翠 3年
42	山北悠人 3年
44	平内徠登 3年
47	浅野快斗 3年
52	李木翔 2年
69	小泉友陽 2年

愛知瀬戸ボーイズ

代表	大野 工太
監督	鈴木 正秀
コーチ	栗山 嘉孝
マネージャー	中野 奈美
2	主将 山内 佑峰 3年
1	青山 獅王 3年
3	山田 将璃 3年
4	磯金 海里 3年
5	安田 瑛太 3年
6	倉橋 来渡 3年
7	林 稔貴 3年
8	大峠 篤弘 3年
9	岩田 佳大 3年
10	小山内 丈晃 3年
11	平田 陽哉 3年
12	武井 元 3年
13	木村 祐太 3年
14	中野 元太 3年
15	江越 柊也 3年
16	鵜飼 大獅 2年
17	大前 賢生 2年
18	水野 太聖 3年
19	多和田 悠人 3年
20	鈴木 優吾 2年
21	宅間 隆之信 2年
22	山本 琉希亜 2年
23	永田 星嵐 2年
24	荻原 大 2年
25	今井 稔 2年

愛知木曾川ボーイズ

代表	大迫 英紀
監督	鈴木 俊雄
コーチ	森 裕幸
マネージャー	西野 稔
32	主将 桐谷 奏佑 3年
12	渡辺 悠希 3年
13	渡辺 遼太 3年
21	石井 達己 3年
23	高須 翔己 3年
25	木下 立稀 3年
26	村田 大知 3年
27	塚本 敦琉 3年
29	西野 史龍 3年
30	堀 晃成 3年
31	大脇 隼人 3年
34	浅野 夏葵 2年
37	河尻 琉希 3年
43	中村 春貴 3年
45	河合 将吾 2年
49	青木 修人 2年
51	柿田 知宏 2年
58	内藤 旬 3年
70	川出 湊真 3年
71	浅野 陸斗 3年
77	伊藤 光希 2年
78	小野 裕翔 3年
88	小栗 快人 3年
89	山田 雄也 3年

愛知津島ボーイズ

代表	山岸 昌弘
監督	国森 由剛
コーチ	池田 祐城
マネージャー	上村 隼大
8	主将 藤島 琉樹也 3年
1	渡部 瑛心 3年
2	佐藤 優斗 3年
3	永井 蓮人 3年
4	下間 慶寿 3年
5	横井 征有 3年
6	大鹿 矜翔 3年
7	皆川 璃緒 3年
9	佐藤 蒼真 2年
10	伊藤 達希 3年
11	栗田 翔亘 3年
12	大津 裕睦 2年
13	杉山 稜空 3年
14	菱田 陽星 3年
15	後藤 大牙 2年
16	山田 翔太 3年
17	横井 将大 2年
18	橋本 拓希 2年
19	村田 悠真 3年
20	奥村 鉄真 2年

【小学部】

東海ボーイズ

代表	加藤 剛司
監督	志賀 裕一
コーチ	金井 慎司
マネージャー	本多 久
11	主将 鈴木 篤志 6年
1	本多 功芽 6年
5	内村 優斗 6年
7	小澤 后都 4年
9	松井 廉 4年
17	佐藤 優 5年
18	伊波 凜之介 6年
19	本多 由芽 3年
21	開米 悠生 4年
25	開米 統生 6年
44	田中 ランディ 4年

名古屋東・岐阜合同ボーイズ

代表	清水 英史
監督	長尾 文博
コーチ	尾関 大輔
マネージャー	岡本 清美
5	主将 橋本 陣之右 6年
1	岡本 蒼生 3年
2	石川 凌久 6年
6	森 達志 6年
7	橋本 丈太郎 2年
8	葛西 新 6年
9	鵜飼 惇生 6年
10	葛西 隼 3年
12	濱地 凜 6年
16	大栗 賢祐 4年
17	大竹 敦貴 6年
21	福永 皓天 5年
51	笠原 帆高 6年

稲沢中央ボーイズ

代表	林 透
監督	長尾 実
コーチ	伊藤 文博
マネージャー	石田 侑靖
20	主将 堀場 梁源 6年
1	山田 大智 6年
4	木全 裕信 6年
5	大山 青葉 4年
6	大隈 楓莉 6年
9	佐藤 湊 6年
10	北川 隆晴 6年
12	蔭山 奏弥 5年
14	加藤 翔太郎 6年
17	北島 大巳 5年
18	赤塚 息吹 6年
19	佐野 裕真 5年
22	広田 爽真 5年
24	原田 昇虎 5年
25	堀場 瑛心 4年
33	後藤 蓮旺 6年
54	腰山 潤人 6年

エスエスケイ旗争奪大会優勝・準優勝チーム

第 1 回 (平成13年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海チャレンジャー 東海チャレンジャー	準優勝 準優勝	春日井ボーイズ 尾張ウイングス
第 2 回 (平成14年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 中京エンペラー	準優勝 準優勝	名古屋ファイターズ 東海チャレンジャー
第 3 回 (平成15年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 東海チャレンジャー	準優勝 準優勝	東名古屋スターズ 小牧中京ボーイズ
第 4 回 (平成16年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海チャレンジャー 中京エンペラー	準優勝 準優勝	名古屋フレンズ 尾張ウイングス
第 5 回 (平成17年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	春日井ボーイズ 尾張ウイングス	準優勝 準優勝	小牧中京ボーイズ 東海チャレンジャー
第 6 回 (平成18年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋フレンズ 中京エンペラー	準優勝 準優勝	愛知知多ボーイズ 名古屋ファイターズ
第 7 回 (平成19年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	刈谷セントラルボーイズ 尾張ウイングス	準優勝 準優勝	尾張ウイングス 東海チャレンジャー
第 8 回 (平成20年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	中京エンペラー 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	刈谷セントラルボーイズ 東海チャレンジャー
第 9 回 (平成21年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	春日井ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	三好東郷ボーイズ 中京エンペラーボーイズ
第 10 回 (平成22年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知知多ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	愛知江南ボーイズ 中京エンペラーボーイズ
第 11 回 (平成23年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知知多ボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ	準優勝 準優勝	東海チャレンジャーボーイズ 中京エンペラーボーイズ
第 12 回 (平成24年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知瀬戸ボーイズ 名古屋TLCボーイズ	準優勝 準優勝	尾張ウイングボーイズ 東海チャレンジャーボーイズ
第 13 回 (平成25年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 尾張稲沢ボーイズ	準優勝 準優勝	名古屋富士ボーイズ 名古屋東ボーイズ
第 14 回 (平成26年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	東海ボーイズ 中京ボーイズ
第 15 回 (平成27年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	東海ボーイズ 東海ボーイズ
第 16 回 (平成28年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	春日井ボーイズ 春日井ボーイズ
第 17 回 (平成29年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知瀬戸ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知知多ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第 18 回 (平成30年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東海中央ボーイズ 東海ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知小牧ボーイズ 春日井ボーイズ
第 19 回 (令和元年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	名古屋富士ボーイズ 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知小牧ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第 20 回 (令和2年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 稲沢中央ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知木曽川ボーイズ 東海ボーイズ
第 21 回 (令和3年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知尾州ボーイズ 春日井ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知木曽川ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第 22 回 (令和4年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	愛知瀬戸ボーイズ 東海・春日井合同ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知尾州ボーイズ 稲沢中央ボーイズ
第 23 回 (令和5年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝	東尾張ボーイズ 稲沢中央ボーイズ	準優勝 準優勝	愛知長久手ボーイズ 東海・春日井合同ボーイズ
第 24 回 (令和6年)	中学生の部 小学生の部	優勝 優勝		準優勝 準優勝	



proedge

